

第19回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2018年5月12日(土) 10:00~11:30
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、大永委員、大田委員、三宅委員、春木委員
市より	:森田部長、藪田課長、尾川係長(司会進行)、林課員
傍聴者	:6名

○司会(市) 定刻になりましたので、第19回ゴミパイプライン協議会を始めさせていただきます。

司会の友田さんが体調が悪いということで、環境施設課の尾川が務めさせていただきます。よろしくお願いします。

まず、資料の確認です。第19回ゴミパイプライン協議会次第。資料1、パイプライン運転報告。資料2、経費削減の取り組み。資料3、パイプライン入力システム集計結果(平成29年度)。資料4、今後1年間の協議会の取り組みについて(案)という4枚になっております。過不足ございませんでしょうか。

それでは、次第に沿いまして始めさせていただきます。

まず今回、平成30年度になりまして、利用者の会と芦屋市、両方とも体制が変わっております。新体制の紹介でまず、利用者の会の方からお願いします。

○利用者の会 おはようございます。利用者の会の山口です。

今回、利用者の会のメンバーとして、以前はワーキング・グループAに、プラス私たち3役、私と大永さんと友田さんが入ってこの会議をやらせていただいたんですけども、利用者の会の中に総務会ができて、その総務会のメンバーがこの会議に参加するということで、私たちも内部でいろいろ調整をしてやっていくということで、今回からそのメンバーが参加させていただいていることとなります。そのメンバーは月2回集まりまして、夜な夜なパイプライン、ごみも含めた会議をして、何とかパイプライン問題を解決したいということで話し合いを続けている。その7人のメンバーです。

きょうはまことに申しわけありません、副会長の友田さんが急遽、きょうの朝体調を

悪くされてまして。私の風邪が感染したかなと思いますけど、申しわけありません、欠席で。あと2人おられるんですが、木寺さんは用事がございまして、きょうは残念ながら来られないのでよろしくということです。

各自自己紹介で、私は委員長をやらせていただいている山口と申します。よろしくお願いいたします。

○利用者の会 芦屋浜自治連合会の大永と申します。どうぞよろしく。

○利用者の会 どうもお世話になってます。春木です。今後ともよろしくお願いいたします。

環境施設課のほうも、いろんな仕事が混みあってきて大変やと思いますけど、これから非常に大事な段階に入ってきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○利用者の会 おはようございます、潮見町の大田です。

今回、新しく総務会ということで、一応、戸建て低層住宅の立場として参加させていただきました。低層戸建て住宅だけでなく、芦屋市全体のごみ問題に関しても、広い見地から考えていきたいなと思っております。

長谷さんのかわりとして参加することになりましたので、よろしくお願いいたします。

○市 それでは、芦屋市のほうを紹介させていただきたいと思います。

○市 おはようございます。

芦屋市も4月1日付で人事異動がございまして。ただ、顔ぶれは余り変わりませんが、席替えをしたような感じになっております。私、市民生活部長の森田でございまして。どうぞよろしくお願いいたします。

前任の北川は定年退職になりましたけども、引き続き再任用ということで、実は環境施設課に勤務をしております。環境施設担当で、前の藪田のポストですが、中でも事務分担を一部変更しております。北川のポストについては、西宮とのごみ処理広域化を始めとした施設整備の将来検討に特化してございますので、このパイプライン協議会の場へ出席は御遠慮させていただいております。

私が3月までおりました環境施設課長には、藪田が主幹から異動になっておりまして、事務分担の見直しの中で、環境施設課長がこれまでのパイプラインを含め、現在のこの環境処理センターの施設の維持管理運営も担当するというので、引き続き、パイプラインについては藪田が担当することになっております。

私、森田は陽光町に住んでおりまして、パイプラインの利用者でもあります。それはそれとして、ここは市の職員として座っておるわけですが、利用者としての実態も、

一定承知はした上でここに座っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

○市 おはようございます。環境施設課、藪田です。

今、紹介していただきましたけども、これまでは施設担当で、私は施設の維持管理を見てたんですが、この4月からはそれに加えて、ごみの減量化でありますとか、再資源化など、こちらにも携わることになっておりますので、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○市 私は何も変わってませんが、環境施設課の尾川です。引き続きよろしくお願ひします。

○市 同じく、環境施設課の林です。パイプラインの担当させていただいております。よろしくお願ひいたします。

○司会（市）それでは、この新体制で30年度やっていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

次第に沿ひまして、2番目、パイプライン運転報告について、資料1、環境施設課の林から説明させていただきます。

○市 環境施設課の林です。

資料1をごらんください。パイプライン運転報告といたしまして、今回、4月に協議会がありませんでしたので、2カ月分の報告になります。

表面にシステム異常発報対応といたしまして、システムが異常発報したものについて記載させていただいております。裏面には、上部に利用者からの連絡対応といたしまして、利用者の方から直接、環境施設課等に連絡があったものについて記載させていただきます。その下には巡回及び定期点検で発見された不具合点等、実際にどういった点検をしているかを説明させていただきます。

まず、表面のシステム異常発報について報告させていただきます。全て報告するのは時間がないので、幾つかピックアップして報告させていただきます。こちらに関しましては、左手のナンバー、1番、8番、16番、17番、18番、23番。この辺について、全て同じ投入口で起きている異常です。投入口が潮見町の12131。こちらはシステムで、弁の異常で何回か閉異常、開異常になっております。今も潤滑油等で対応はしてるんですけど、今、様子を見ながら運転をしている状態になります。

13番は4月7日土曜日、10時50分。ローカル、陽光町。投入番号が30048。ドラム、呑込み異常です。これに関しても、普通の一般的にある異常ですけれども、このとき

維持管理の方から私と尾川が呼ばれまして、現場に行ったところ、場所は陽光町ですが、そのごみを見ると新浜町の方が捨てたごみだとわかりました。実際、その方のところに行きまして、余り遠くのところに入れなくていいという啓発をさせていただきました。

私たちも特段、あなたはどこの投入口ということはないんですけども、余り1箇所に集中してしまうと、その投入口がずっと赤になったりしますので、できるだけ、皆さんお近くの投入口を御利用ください。一番下に星印で件数を書いていますけど、今年度はちょっと少なかったです。平成27年度が30件、28年度が37件、29年度が23件になっております。

裏面をごらんください。上のほうの、利用者からの連絡対応といたしまして、こちら左手のナンバーをごらんください。こちらは2番、3番、4番。場所はそれぞれ新浜町、緑町、若葉町。場所は違うのですが、作業内容としては全て同じになっております。

簡単に説明させていただくと、芦屋市のホームページにも、パイプラインのホームページにも書かせてもらってるんですが、皆さんお使いの投入口の鍵ですけれども、通常は皆さん、投入口に差すときは12時の方向で差して、12時から3時の方向に右回りに回しまして、バケットを開いて、終わった後に、またバケットを閉めた後、3時から12時に戻して鍵を抜くんですけど、こちらの鍵を見ていただくと、先っぽに突起物があります。この突起物で、通常、写真の右手、「開」の状態では抜けないはずですが、鍵が摩耗してしまいますと、この状態で抜けてしまいます。抜けてしまいますと、中の鍵の受けの部分が既に回ってる状態になっておりまして、次に投入される方が12時の方向で鍵を差そうとしても、鍵が入らない状態になります。ですので皆さん、投入口、ごみを捨て終わった後は、必ず3時から12時の方向に戻してから鍵を抜くようお願いいたします。

ナンバー5番をごらんください。こちら、地図上で言いますとナンバー1の浜風町にあります投入口、投入口番号が6051になります。こちらに関しましては、バケットの詰まりが発生しておりまして、写真がこちらです。実際に取り出した後、車の荷台に載せたときの写真ですけれども、発泡スチロールをたくさん詰め、投入して、貯留槽で詰まったような状態になっております。

こちらに関しましては、投入口自体に啓発文を貼っております。こちらに関しまして

は、利用者の会にもメールで送付させていただいております。余り無理やり投入しますと、バケット自体が詰まるようなことが起きますので、御注意ください。

写真ではないですけれども、ナンバー6番。6月8日日曜日、18時14分。ローカル、陽光町。投入番号が30098、誤投入。こちらに関しましては、本年度、平成30年度4月からですけれども、利用者から維持管理のコスト削減の件で、今現在、日曜日の運転を止めているような状態になっております。それに伴いまして、日曜日、委託業者さんも出勤してない形になっております。

このときに関しましては、私に連絡がありまして、私が事務所に来まして、市民の方、また維持管理の方と連絡をとりまして、翌日、月曜日ですけれども、ドラムの中のごみを全て取り出して探したんです。結局、その貴重品は発見することができませんでした。後日、こちらの事務所に連絡がありまして、部屋の中から見つかったという連絡がありましたので、それで作業は終了させてもらっております。

○利用者の会　すごいな。

○市　件数に関しましては、平成27年、28年、29年と9件、10件、9件と、特段変化はございません。

続きまして、その下、巡回及び定期点検で発見された不具合点等について報告させていただきます。ナンバーで2番、4月3日火曜日、ローカル、潮見町、12032、投入口。投入口の下部が腐食で穴あき。私は前回出席しておりませんが、前回の協議会で報告させていただいていた部分で、投入口の裏のガラリの下の部分、レーザーポインターのこの部分に関して、穴あきが何か所かありましたので、そこまで皆さんの目にするところではありませんので、ゴム板と水中ボンドで補修をして、またガラリをつけて補修完了といたしております。

ナンバー4番、4月19日木曜日、ローカル、潮見町。投入番号が12143。投入口、排水ホースです。投入口の下に投入口ピットがあるんですが、そこに水がたまった。ここに関しては、場外に出すときのホースがあります。配管とホースがありまして、そこに亀裂が入っていたのでアルミテープで補修をしております。こういったのも巡回点検等で発見されるものです。

ナンバー5番、4月23日月曜日、ローカル、新浜町。投入番号が05141。投入口で、投入口塗装・タッチアップ実施で、巡回点検等で、左手の写真、投入口のこういった部分が、塗装がはがれてしまいますので、巡回に行って回ったときに、同じ色で塗り

まして、さびを隠しております。こちらに関しましては、ナンバー3も同じような形になっております。

ナンバー6、これは4月27日と書いてあるんですが、これは28日土曜日の間違いです。場所はローカル、潮見町、12061、貯留槽。大量の草木類の投棄で閉塞。こちらに関しては簡単な断面図を描いてるんですが、これは芦屋市のパイプラインのパンフレットを切り抜いて使ったものです。これは戸建ての投入口の断面図になります。

こちらは皆さんが使われている地上の投入口ですけれども、こちらにごみを入れますと、この下の縦の筒の部分。これは貯留槽で、ここにある程度たまりますと、こちらの下弁がスライドして、ごみがブロワで流れます。この前、貯留槽の下弁のすぐそばの扉があるんですけど、これをあけますと、こういった形で大量の草木が入ってまして、これで弁がかみこんで閉異常を起こした状態になっております。

これはたまにあるんですが、今回、この下の写真。これはメジャーで、これはわかりにくいですが、木の棒になります。長さは大体80センチで、うまく入れたなと思うんですが。これが投入口の貯留槽の中から見つかったものになります。

これに関しましても啓發文といたしまして、4月28日土曜日、大量の草木投棄で。同じ写真ですが、こちらを投入口に貼りました。また、利用者の会にもこちらをメールで送付させていただいております。

最後にナンバー7番。5月1日火曜日、ローカル、潮見町、投入口番号が12081。こちらも貯留槽。大量の新聞紙、バインダー等の投棄で閉塞。先ほどと内容は一緒ですけれども、ごみに関しては今回は新聞紙で、大量の新聞紙が投棄されておりました。また、バインダー、紙の板を折り曲げた跡があるんですが、折り曲げて投入された形跡がありました。こういったのも余り無理やり入れますと、貯留槽の部分で詰まることがありますので、分けたり、また量が多かったら持ち込み等で対応お願いいたします。

こちらに関しましても、同様に啓發文を、同じ写真ですけど、つくらせていただきまして、投入口に掲示、また利用者の方にメールも送らせていただいております。

以上でパイプラインの運転報告を終了させていただきます。

○司会（市） 2番目の運転報告については以上です。

これに関しまして、何かございますでしょうか。

○利用者の会 御苦労さまです。特に日曜日に出てきて、一生懸命、あの汚い中をいろいろ

ろ調査して、あげくの果てに住民の家にあったという、本当に情けないなと思います。

毎月こういう報告をしていただくのは非常に素晴らしいことだと思いますけども、今年はこれに、私たちの取り組む活動で4番目に、後で説明させていただくんですけども、これは徹底的にやらないと、単に何かを貼ったからとか、そういう問題で解決できるかという、できないような気がします。ですから少し、この協議会も通じて、利用者の会の中でも、いろんな形でワークショップとかをしながら、どうしたらこういう問題を、どんな原因があってどうするのかを徹底的に、今年1年間、対策をしていこうと私は考えております。

そうしないと、せっかくみんなで協議して、パイプラインを何とか20年、32年もたせようとするときに、住民みずからがこんなことをしてたら、全く、後でいろんな方から突っ込まれたときにも言いわけできません。「あんたらみずからがパイプラインをこうやって壊してるじゃないか」と言われかねませんので、やはりこれは、市よりもむしろ住民みずからが問題を解決して行って、何とかしたいと私自身は考えておりますので、ぜひとも市のほうも御協力いただいて、これをなくしていくことで取り組んでいきたいと考えています。

○利用者の会 潮見町の大田です。

今、山口委員長から、住民の責任でという話があったんですが。潮見町で、システム異常で7件、巡回点検で4件で、非常に気になる部分なんですけど。住民で多々見るのが、車で、他府県ナンバーで運んでくるごみも、ケースも、結構見てるという話を聞いてます。

大量のバインダーとか、これは新聞紙と書いてますけども、新聞のようには見えないような感じだけ。バインダーに挟んでる書類とか、ごみの下のほうなんか、新聞紙でしょうか。きれいに折り畳んだ状態で、開封してないような感じは受けるけども。

○市 株の新聞。

○利用者の会 以前にも12081ですか、その近くの12082で木片が何枚か捨てられてたという話もありましたけど。

どうなんでしょう、あれだけの荷物。何回も運ばないと、そこそこの重さと量になるん違うかと思うんだけど。家庭から捨てられたとは、我々としては考えたくないんですけど。中にはいるかもしれませんが。たまに新しい、リフォームされたりするよな家もあるんで、住民の方が業者に鍵を渡して、捨てるようにという依頼をかけた

のかもしれないけど。余りにも潮見の名前が多々出てくるので、非常に心配してるんです。

それと、巡回及び定期点検で、草木とかバインダーとか新聞が出てます。これは定期点検で発見されたのか、システム異常としては出てなかったんですか。

○市 潮見町の件に関しまして、4月28日の件に関しまして、システム異常でも弁の閉異常、表面に同じ日付で出てるんです。

○利用者の会 28日。

○市 こちらの下の潮見町12081は、こちらはシステム異常では出ていないです。

○利用者の会 巡回のときに発見された。

○市 そうです。下に関しましては、運転をして。先ほどの貯留槽のところ部分ですけども、通常ですと運転をした後に、この下の弁が開いて、ごみが下に落ちるんです。ぎゅうぎゅうに詰まってて、運転をしても下にごみが落ちずに、ずっとセンサーのところにごみがある状態で、青になるはずがなかったよと。これはシステムは出ないんです。こちらは出なくて、現場に行ってみると、こういったごみがあったという流れになります。

○利用者の会 潮見町の大田です。

それと、それぞれでかかった作業時間とか労務費。労務費は、これ見てみたら、外部委託には出してません。一応、環境処理センターの費用の中でされてるということですけど、これの作業時間の合計金額もトータルとして出されてはいかがかなと。そのほうが、ちょっとインパクトあるのかと思います。

○市 次からは合計金額と作業時間の合計を書かせていただく。作業人数の合計書かせていただくような形で考えます。

○利用者の会 どうも御苦労さまです、春木です。

この地下方式、これは利便性あるいは景観は非常にいいと思います。しかし一方、こういうことが起こることは、環境面で非常に悪いです。資料3にも、月3件か4件か、毎月のように起こってるというデータが出てます。この辺は徹底的に削減をする必要があると思うんです。これは住民、業者か何か知りませんが、運んできて入れとるようなことであつたとしても、やはりこれは徹底的に減らす努力はせないかと私は常々思ってます。来るたびにちょっといらいらというか、みんな一生懸命頑張ってるのに、何やねんという気がしてます。

ほかのごみステーションであれば週2回、それも決められた日に出して、余分な、こういう資源ごみなんかほかしていると、絶対持って帰らんです。貼り紙でもして置いときます。雨が降ってどうのこうのいう以前に、例えば四、五十リットルの透明なビニール袋でも持って行ってでもして、そこに入れて放置やということまでやるとか、ほかの業者が来てるんやったら、鍵は違う鍵に変えて、自治会で管理するんやというぐらい、これは極端かもわかりませんが、ぜひ今後活動して、これは減らしたいと私は思っています。

でないと、今後いろんなことをやっていくにしても、代替案やとか今後具体的にやっていきますけど、こういうのが月に3件も4件も平均して起こってるとなったら、誰が見ても賛成してもらえないですね。ということで、これはできる限り減らしていく努力は、私たちにもあると思います。

委員長もおっしゃりましたが、今後の活動に入れて、やる言うてますので。ぜひ、その辺、お互いに協力して、一体化となって減らしていきたい。誰が見てもよく頑張ってるなと思われるように。これらが3件も4件も起こってたら、誰が見ても何やねんということになりますね。それを、ぜひよろしくお願いします。

それと、ちょっと感じたことですが、さっきのあの図は排出弁型ですね。

○市 はい。

○利用者の会 せっかくこれ外して、そして中、放りだしてきてしたのであれば、中の点検も一緒にあわせてできないですか。今後、20年間の費用には、排出弁型も幾らかって何千万か乗せてますので。はっきり言うたら、えいやで。実際、中見てやった費用ではないので。できたら、せっかくオペレーターが2人一組でいて、それは二組いてるんかどうかわかりませんが、ばらして、中のものをひっくり返してやったりという時間をかけるのであれば、全くそれだけで帰ってきたらロスです。ただ単なる。そやから、せっかくの機会なんで、あけると同時に、できる限りの範囲で劣化程度の診断をやってほしいなと思います。それも今後よろしくお願いします。

先ほど、貴重品の誤投入がありました。結局は家にあつたということですが、これの労務費が計算したのでは3万円弱です。この人は知りませんね、恐らく。言うてないですよ、サービスやから。この辺も、貴重品を誤投入したらこれだけの費用かかるというのも、やっぱり住民の皆さんに知ってもらわないかんとします。その人の名前を出せという意味違いますよ。入れたらこれだけ被害こうむってるんやいうことを、

やっぱりアピールする必要があるん違うかなという気がしています。

システム異常発報対応。これは毎月一番下の欄に、平成27年、平成28年、平成29年、その期間の発生件数を並べてもらってます。この対象、ここについては30件、37件、23件と減ってますけど、この前、前回のこの協議会でいただいたやつでは、この間の総務会でも話させていただきました。12件、10件、22件、今年度もものすごい増えてたんです。今回はちょっと減ってますけど。この辺もあわせて、今後ともシステムの異常発報については、減らす努力せないかなという気はしています。これが設備機器、伝装も含めて重故障の起こる合図やということも考えられるのではないかと思いますので、ぜひともこの辺は有効に活用できるように、今後ともよろしくお願ひしたいなと思います。

以上です。

○利用者の会 潮見町の大田です。

今、先ほど春木さんが、いろいろ問題点があるから、地下ピット方式にはちょっと問題があるん違うかなという御意見だったと思います。私たちは、これがイコール地下ピット方式に向いてないよと。こういう現象が起こるから向いてないよというのは、ちょっと見解の相違があるなど。

○利用者の会 違う、そういう意味で言うてんの違う。地下ピット方式は、ものすごく利便性もいいので、それを進めるのは、その後、委員長から活動言われますけど。

○利用者の会 申しわけない。

○利用者の会 それを前に進めるために、今みたいにこんなことが毎月3件も4件も起こって、たまには芦屋市のホームページにも掲載される。それを見た市長なり議員なり、見てどう思うかと。地下ピットについては、やっぱりこんな欠点があるなど思われたらいかんという意味で。反対してるんやないです。

○利用者の会 わかりました。

それと、先日のバインダーと新聞、これをまた自治会の班長会で配ろうと思ってるんですけど。林さんと友田さんのメールのやりとりを見てみると、非常に汚れてるので保存ができなかったということを書かれてたと思うんだけど、この状態を見てみると、決して、非常に汚れてるようには思えないんだけど。

もしくは、住民がこれを捨てたとしたら。この状態だったら保管できて、保管して、投入口に掲示、置いておけるんじゃないかと思うんだけど、どうですか。プライバ

シーの問題があるでしょうか。

○市 芦屋市の林です。

前回か前々回の協議会であったんですが、テレビとかの場合であれば啓発で置いてるんですが、私の写真の撮り方ですけども、基本的に一部で、全てでないんです。一部で、啓発できるかどうかは、一応、私が現場に行って、こういう状態だったので上に報告をして、これは無理だねというのでやっている。

基本的には私たちも、今の協議会とかで置いたほうがいいんじゃないかという意見もありましたので、置いていきたいなという考えではあります。ほんまに無理とか、ガラスとか置いて、通学路とかにそんなん置くのも危ないので、そういった形で置くか置かないかの判断はさせていただいております。

○市 そのぐらいでよろしいですか。

芦屋市としましても、先ほど林が申しましたように、置きたい、置いて啓発をしたいという形です。ただ、汚汁というんですか、ごみの中に入ってますので、ちょっと汁がついてたりとか、危険なものは基本的には置けない形になります。透明な袋に入れてというのも、ひとつ考えてやっていきたいと思います。

あと、どこからか持ってきて、車で持ってきて投入してるんじゃないかというのもありまして。今回、詳しくは説明しなかったんですが、裏面の3月27日火曜日、ナンバー1。3月27日のローカル、陽光町、33038の不法投棄。ここは毛布とか布団とか、かなりの量が詰まっております。現場に行きまして、正直、個人を特定できたんです。新浜町の方やったんです。そこに行かせていただいて、なかなか会えなかったんですけども、何度も行かせていただいて、会いました。何でこんな遠くに、それも入れたらあかんもんを何で入れるんやという話をさせていただきました。なかなか納得はしていただけなかったんですけども。

そういう形で、私どもも直接、特に、そこには住所と名前が入ったような書類がいっぱいありましたので、そこに行かせてもらって。近隣ですると多分文句が出るんでしょうね。人の少ないところ、利用者の少ない陽光町に車でわざわざ行って捨てる、これは悪質性を感じましたので、直接そちらに行って説明しました。また、ごみハンドブックとかもお渡しをして、こういう使い方をしてくださいと粘り強く言わせていただきました。

向こうの感触は、こんなものに人件費をかけるんやったらもったいないんじゃないか

ということみたいでしたけれども。そういう方もいらっしゃるんですけども。そういうことも含めて、これから啓発のために置けるものは置いて。個人情報の問題はありますけども、個人が特定できるものは、その人に直接話をさせてもらうような形を、我々も体制としてとっていっています。利用者の会の方ともタイアップしまして、いろんな、こういうのを減らしていくような努力をこれからしていきたいなと思っております。

○利用者の会 けしからんな。

○市 今、尾川から説明があった件ですが、表面のナンバー13の件、新浜町。先ほどの尾川から説明した件。私が間違えて、違うところを説明しました。訂正させていただきます。

○司会（市） 次第に沿いまして、3番、昨年度の取り組みについて、①経費削減の取り組み（資料2）としまして、尾川から説明させていただきます。経費削減の取り組み、この横1枚です。

○市 平成29年度4月から皆様の御協力のもと電力入札を行いまして、関西電力からエネサーブという会社になりました。それによって、電気代がぐんと下がっております。それを毎月、何ぼ下がりましたよと、幾ら下がりましたよと報告させていただきました。今回、総括で、平成29年度どれだけ下がったのかを書いております。

金額だけ言いますと、パイプラインだけのものに関しますと、削減金額として1,387万2,145円。毎月平均で115万6,012円という形で、予定どおりといいますか、1,400万円弱の削減をできております。この4月に関しましても115万円ぐらいです。同じような形で削減できてますので、今のエネサーブさんと契約してる間は削減ができていけないんじゃないかなと。細かい話をしますと、重油の値段とかが上がるとちょっとずつ値は変わってくるんですけども、順調に削減できております。

今までは毎月説明させていただいたんですけども、余り代わりばえしないというのもありますので、今後は、半年ごとか年度ごとという形で説明させていただきたいと思っております。

○司会（市） 2番目、入力システム（赤ランプ・トラブル等）の集計結果（資料3）で、林から説明させていただきます。

○市 資料3、パイプライン入力システム集計結果（平成29年度）の報告をさせていただきます。

こちらに関しましては、山口さんがつくられた入力システムの結果、29年度のまとめを、それぞれ満杯、赤ランプの回数、トラブルの回数、投入物におけるトラブルの回数、3つに分けて報告させていただきます。

今回、この場に関しましては結果だけを報告させていただきまして、また、それぞれの対応等につきましては、下部組織であるワーキング・グループ等で話し合っているのかなと考えております。1番に関しまして、満杯の回数。こちらは1年間で、それぞれの投入口で満杯の赤ランプが何回起きたかという回数を、上位5つを示しております。

一番多かったのが、アドレスが12011、潮見町の1番。容量が一番小さい0.4のところで、月平均で52.7回。1日約1.73回。潮見小学校にあるんですけども、こちらに関しては一番多かった。同率で投入口番号が03112。新浜町7番の投入口になります。

全ては表示してなくて5つまでしか書いてないですけども、あと二、三個が、大体1日平均1回を超えている箇所になっていました。

2番はトラブルの回数。こちらも1年間で、ブロワの運転等で、バケットや貯留槽にごみが詰まったようなトラブルの集計結果を示しております。1番は、投入口番号は12091。潮見町の24番の5回が一番多かったです。2番が、こちら投入口番号が12021、潮見町の20番。回数が4回。こちらは潮見中学校になります。あと3回、あと2回と続いております。

3番、投入口におけるトラブル回数。こちら1年間のトラブル発生回数。どういったごみがトラブルで起きたかを示しております。一番多かったのは雑誌、チラシ類です。こちらが1年間で約15回起きております。2位はダンボール、13回。これらのごみに関しましては資源になりますので、資源ごみの日に出すようお願いいたします。

こういった回数については以前、山口さんに出してもらった平成28年度の資料もありますので、ワーキング・グループとかでこういった資料を照らし合わせて、28年度、29年度、どういった変化があるかを、またワーキング・グループで話し合いたいと思っております。

報告は以上です。

○利用者の会 潮見町の大田です。

トラブル回数の多いところを、再度、図面で、地図で出させていただきたいんですけど。

(図面確認中)

○市 あとは、この図面、芦屋市のホームページに載せてます。何も書いてないやつを。

そこに番号も全部書いてますので、もしよろしければそちらをご覧くださいたら、どこの投入口がどこにあるんだというのはわかると思います。

○利用者の会 潮見のところで12081とか12091というと、非常に道幅があって、車がとめやすい場所ですよ。住民が絶対やってないとは言いきれませんが。多々持ち込める車をよく見かけることもありますので。

そういう場合、詰まった内容のものを投入口の横に掲示したとしても、次、いつ来るかわからないということがあるんですけど。その辺はどうするのかと思うんですけど。バインダーと株関係の新聞。これらが異常に、潮見の住民だったら株やってるケースもあると思うんですけど。この写真を見ただけでは、まだ保管できそうなものなので。住民としたら、これは絶対置いとっていただきたいと思います。

○市 先ほど言いましたように、透明な袋等考えて、これから検討していきたいなと思っております。

○利用者の会 春木です。

このトラブルについては、今後進める上で非常に大事なものや思うてますので。先ほど、代替案のことで変なふうに。私は何も反対してるわけやありませんので。むしろ賛成を推進するために、ほかから反対されたら、いろんなこと考えられますよね。議員やとか、いろんな状況ありますので。

だから、これはできるだけ減らしたい。さっき言われたように、ナンバー1と2と4については資源ごみです。これが毎月3件も起こってたら、これらはできる限り減らさないかんということで。平成28年度と比較評価していただいて、またワーキングでもその辺を議論させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それと、経費削減の取り組みで、電力の件です。1,400万弱成果が出たということで、大変喜ばしいことだと思っております。ただ、4月から3月までの電力使用量。それを28年度と29年度とずっと見ていくと、4月から8月まではむしろ逆に、平成29年度のほうが平成28年度と比べて、電力の使用量が多い。何でやと。一方、今度は9月からずっと見ていくと、10月、11月は台風による影響なんで、これは目つぶっとっても、9月、12月以降を見てみると、平成29年度のほうが電力の使用量が少ないです。これは何でやということが1つあると思うんです。

せっかく、こういう細かなデータを出していただいているので、これを分析することに

よって、新たな改善テーマが出てくるん違うかなという気がするんです。1つ考えられることは、早朝にしたこと。定時運転、これまでは2回やった。それを1回にしたと。1回にして、その定時運転は満杯運転に変わった。なおかつ、満杯運転は3箇所から6箇所にふやしたということです。

これらで考えられるのは、ここにブロワの運転変更による削減と書いてもらってますけど。赤ランプ3箇所を6箇所にしたということは、それだけ送風機の起動時のロス。仕事もしてなくて、ただ単に消費して休む、減らそうやないかということですね。

もう一つ、定時運転。定時運転を1回減らして満杯にした、これは何やと。定時運転は、ただ単に満杯であろうが空っぽであろうが、自動的にちゃちゃっと、オペレーターがおらん間に早朝でやってます。満杯であろうが、空であろうが、自動的にちゃちゃっとやっていきよる。ほんなら、それが1回なくなるということは、それが満杯運転に移行するという事は、非常に電力的に見たら効率的になります。その辺による影響が出とるんかなと。想定ですけど、それを思うわけです。そうしたら、定時運転が1つ効果あるなということですね。減らしたのは。

今度は定時運転1回だけ残しとくけど、こんなもん、思い切って満杯運転に変えてしてもたら、さらにコスト、電力使用量が減るん違うかと。電力使用量が減るということはコストダウンになるし、環境負荷というかCO₂も減らせるやないかということになります。せやから、その辺まで突っ込んでやってほしいなという気してるんです。その先は何や言うたら、私前から言うてますけど、それやったら送風機1台要らんやないかということありますので。

せっかくこの1年間、まとめてもらいましたので。またワーキングか何かでも、このデータ、せっかくこれやってもらいましたので。今度はC（チェック）の段階で次年度に向けたアクションへとつなげていく。最近よう言われるPDCAです。ぜひ、その辺のことをよろしくお願ひしたいなと思ってます。ちょっと言うのを忘れたのがありますけど。

それと前回やったかな、日曜日運転停止の結果報告。前回もろうて、分析をもろうたんで。後でまた見てみると、1日当たりのごみ量が、これまでと比べたら、平成28年、29年と、びっくりするほど減ってるんです。27年度までは7.5トン前後やったやつが、平成28年には6.3トン。平成29年は6.1トン。余りにも極端やと私思うんです、幾ら何ぼでも。やっぱりここで、平成28年、29年にかけて何かしたん違うんかなという気し

ています。

ここで1つ考えられるのは、先月、歯医者に行ったときには、事業者系のごみ、投入ボックスは使えんようになって、今使えてないみたいなこと聞いてた。ということは、平成28年から29年に事業系のをとめた。その影響が出とんかなと思うんです。これはまた見ておいてもらえますか、明らかに違うんです。7.5トン、1日当たりごみ出とるやつが、平成28年、29年は6.1トンぐらい。極端に下がってる。これはまた、次回のときに何でかというのを見といてくれますか。

これも1つは、今後のことを考えられると思うんですけど、事業系のやつを、今もう使わんと置いとる。使わんと置いとるけど、それ運転しとるわけでしょう。運転のスケジュールの中に入れて、空運転しとるわけでしょう。

○市 止めるてるやつはしてないです。

○利用者の会 何で、中の輸送管守るために、この間運転しとる言うてた。

○市 通気運転だけは。

○利用者の会 通気運転だけしとる。

○市 はい。

○利用者の会 それは送風機も運転しとるやん。

○市 それは他を運転するときについでに。

○利用者の会 運転しとるわけ、運転して、そこ通気運転やから空気を入れかえてるやんか。使えてないけど送風機の運転しとると。それがかなり、2割近く減とるから、割と多いん違うかないう気してるんです。せやから、その辺またちょっと見といてくれますか。何でやいうの、余りにも極端やからね。

○市 通気運転に関しましては、止めてるところに関しましても、そのまま通気もせずにほっとくと腐ってくるような形になります。道路陥没が起きる可能性もありまして。やっぱり一番いいのは取り出してしまふ。使わないのであれば取り出してしまふ。ただ、それには恐ろしいお金がかかるというのもありまして、苦肉の策としまして、通気運転でお茶を濁しながらの状況なんです。それも含めまして、これからのやり方、それもワーキング・グループ等でまた打ち合わせしていきたいと思ひます。

あと、パイプライン入力システム集計結果、資料3です。潮見中学が載ってたりするんです。前回も、1年ほど前ですか説明させてもらって。我々も小学校だ中学校がトラブルが多かったのがありまして。おのおののところ、小学校、中学校、高校、保育

所、幼稚園等に行かせていただきました。特に多かったところ、潮見小学校に関しましては何度も行かせていただいて。あと、浜風小学校もですね。

今回結果として、中学校はまだ残ってますけれども、改善されたような形になっております。ただ、少しずつですけども、実を結んできてるのかなというのもありますので、こういう形でトラブルを減らしていきたいなと思っております。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

資料2、当然、この資料はファクトブックという形できちっと載せていく。資料をとっていきことになりましてけれども、先ほど春木さんもおっしゃったように、どんな数字をそこに、一緒に比較するかは非常に大切なんです。電気の料金と量だけで見ると、いろんな変化が見れますけど、それだけではなかなかわからない部分があるんです。

ですから当然、この表の横にごみ量も一緒に載せていくと、ごみが減ったから電気量も減ったのか、ごみは全く減ってないのに、いろいろある。そこで想定ができますので、そういう資料。例えば赤ランプ6回を何回運転したかとか、いろんな情報を一緒につけると、じゃあ今後どうしたらいいのかという対策が見えてくるんです。

これだけ見るとなかなか、そうかで終わってしまうので。そうじゃなくて、今後ともどんな形で経費削減をしていくかというのは大きな課題ですので、その辺のデータも、当然ワーキング・グループの中で、このデータもこれに入れたらもっとわかりやすいよねとか、そういうことを進めていきたいなと考えてます。

○利用者の会 春木です。

今、ごみ量の話が出たんですが。もう一つは、ごみ量が1割、2割減ってます。そうしたら、ごみ1トン当たりの消費電力はどうやって比較したら。逆にふえてる可能性だってあるわけです。全然使っていない、ごみほかしてないところ、ただ単に風通しのためにその運転しとる。電力使っている。その数によっては、場合によったら、ごみは減ってるけど、それは事業系ごみであったからやと。

しかし、送風機は運転してるとなったら、トン当たりの消費電力は逆にふえることになります。その辺もよく考えて。考えて言うと失礼やけど、それもよく見た上で、ここに載せる、載せないは検討してもらった方がいいと思います。また、ワーキング等で比較してもらえたら。

○司会（市） 4番、今後1年間の取り組みについて資料4。山口さん、お願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

資料4を見ていただきたいと思います。この基本的な考え方ですね。今年は新しくステップが変わったと思ってます。市の方は、今、住民説明会を開いて、市の基本的な考え方を説明していただくということで、じゃあこの協議会はどうするかと言いましたら、私は3点を目標として掲げたらどうかと思います。目標がないままにずるずるといことと、何を話していいかわからん。ただ、現状をずっと追っただけとなりますので、やはりきちっとした協議会としての取り組みが必要ではないかと私は考えて、今回、3つを提案いたします。

まず1つ、パイプライン施設の効果的な維持管理方法と費用削減の検討で、私たちが大切なのは85億という金額を出してるわけです。これを前提にいろんなものが組み立てられてますので、この金額は何としても、頑張っても死守したい。これが、85億が100億、200億となると、何だということになって、全てのもくろみが消えてしまいます。

ですから、私たちは芦屋浜20年、南芦屋浜32年のパイプラインを利用するために、いかに効果的な維持管理、費用削減、代替案の検討をしていくことが、大きな、今年の課題かなと思います。これは1年で終わる話ではないかもしれませんが、こういうことを1つの大きな柱として、この協議会、恐らくワーキング・グループを中心に、実際的にはなると思うんですが、そういうことを進めたいと思ってます。

具体的にはP D C Aを回しながら、パイプライン施設の設備保全の検討、電気計装設備の検討、維持管理費の削減、代替案のデータ収集と検討、故障トラブル低減活動とそのため提案という形で、今年1年間、しっかりとこの活動を続けていったらどうかというのが1番目の柱です。

2番目の柱は、最初は啓蒙活動という大きなくくりで、ぼやっとしたものだったんですが、それは余にもいいかげんだということで提案がありまして、ゼロ化運動。住民、私たち利用者が。利用者だけじゃないかもしれません。ほかから来てる方もおるかもしれませんけれども、そういう方をなくすと、ゼロにするという大きな方針のもとに、じゃあどうしたらいいのかを、市の皆さんと利用者で一緒になって知恵を合わせる。私たちのこの中には、本当にすごい経験を持ってる方がおられますので、そういう方の知恵もお借りしながら、何とか住民起因のトラブルをなくすことをしたいなと考えております。

ですから、基本的には住民起因のトラブルをゼロにする。そのための具体的な活動と

して、これは原因分析とか、例えば教育活動とか、いろんなものがあるとは思いますが、けれども、その辺を詰めていきたいなと思ってます。ただ、こうだったよねだけじゃ何も変わりませんので、具体的に、恐らく地味な活動にもなると思うんですが、こういう活動をやっていききたいなと思います。

私も潮見中学校、小学校を以前回しまして、校長先生から話を聞いたときに、やっぱり市の方が来て御説明していただいて、職員会議でもこういうトラブルをなくそうということを話し合いましたということで、私に報告がありましたので、そういうことが少しずつ実を結んで、現状の住民の方に、今こんな現状ですよと、やっぱり明確に伝えていきたいなと思っております。

3番目は、そのためにも、前回、私のほうで提案させていただいた、ファクトブックという形で、この協議会も含めてどんなことを話して、どんなデータがあって、どうしてるのかを、きちっと年度別に残していきたい。それを毎年更新して行って、そのデータを活用して、未来に伝達することが非常に大切だと私は考えています。

なぜならば、パイプラインはこれから20年、32年という非常に長いスパンで考えないといけないテーマなんです。そのために、ここに来られてるメンバーが永遠にその期間おられるとは思いません。恐らく、10年たったら何人残つとるか、ちょっと非常に心配なところはあります。そのためにもきちっとした記録を載せて行って、こういうことでしたよねということやらないと、同じことをぐるぐる話してるわけです。それでは意味がありませんので、当然、後継者を育てると同時に、こういう記録をきちっととって、対策なり分析をして手を打てる状態にしていきたいなと、私自身、考えています。

今年はこの3つを大きな柱として、協議会のテーマとしていかがでしょうかということです。何か御質問があれば。

○利用者の会 先ほどの、大量の新聞紙で書かれてますけれど。具体的に、株新聞やったら株新聞とか書いてもらったほうが、捨てた人間に対して、俺違ふなというようなことじゃなしに、俺が捨てた物が故障の原因になってるんだということ、きちっと提示しないとだめかなと思います。あした、自治会の班長会があるんですけど、この記事をみんなに配って啓蒙していきたいと思います。

前回の植木のあの写真も至急いただけたらと思います。一緒に配布したいと思いますので。できるだけ、住民みずからが、このようなことがないように、やはりちゃんと

手を打っていかないといけないんだと思っております。

○司会（市） 5番、その他としまして、環境施設課の藪田から説明させていただきます。

○市 5番のその他。芦屋市の藪田でございます。

その他で、報告事項としてご説明させていただきたいと思います。このパイプライン施設のあり方について、我々のほうで今進めていることを説明させていただきます。

前回のこの協議会で報告させていただきましたが、審議会に諮問しましたということで説明させていただきました。その後、3月28日の審議会で答申をいただいたものがございます。いただいた答申の内容ですが、ゴミ収集パイプライン利用者の会との協議内容も十分に考慮されており、おおむね妥当である。パイプライン施設にかわる収集方法については、施設利用者の理解を得られるように努め、検討を進められたいということがございました。

それらを受けて、現在、我々のほうで住民説明会を開催させていただいております。昨日も浜風集会所で14時からと19時からという形で2回開催しております。その場で市の考えを説明しておりまして、たくさんのご意見等をいただいております。それらの状況を見ながら、またこの後の取り組みを考えていきたいなと思っております。

報告事項としましては以上です。

○司会（市） これにつきまして、何か。

○利用者の会 この日程の組み方ですが、今さら言っても仕方ないですけど。潮見集会所に関しては平日になってる。ほかのところに関しては土曜日とか入って。平日となると、もう主婦層をメインにした説明会になるん違うかなと思うんです。主婦層か年金生活者か。

○市 そういう状況ではなかったですね。きのう来ていただいた状況では。

○利用者の会 できたら、土曜日は1日入れていただきたかったと思いますけれども。そういう意見があったんで。何で潮見は平日だけなんだという意見がありましたので、一言申し上げます。

○市 確かに潮見集会所だけ申しわけなかったんですけども。部屋の予約の関係と、我々も土曜日、こういう協議会があったりだとか。ほかにもリユースフェスタとかいろいろありますので、その辺の日程の関係もありまして、潮見集会所だけとれなかった。ただ、前の3回、全部の午前中、午後、夜という形で、やりたいなと思ってましたので、こういう形になりました。申しわけありません。

説明している内容としましては9回全部一緒ですので、土曜日しか都合がつかない方は浜風集会所か潮芦屋交流センターに来ていただけたらと思います。土曜日の方は5月26日か5月19日に来ていただけると幸いです。

6番目、今後の協議会のスケジュールで。

○利用者の会 1点だけ、春木です。

私、記憶がうっすらしてるんやけど、焼却炉の更新時期。今、広域化やってますけど、芦屋市環境処理センターとしては、いつごろやったんですか。平成40年ごろですかね。

○市 もともと、芦屋市単独で施設の更新計画を立てたときは平成38年ごろだったか。
(正確には平成42年です。)

○利用者の会 38。

○市 だったと思います。ただ、西宮市が40年度に西部の焼却炉の建てかえを予定してますので、それやったらその2年間何とか頑張っ、それに合わせて広域でできないかというのを今進めてるところです。

○利用者の会 そうか、広域化が平成40年。

それで焼却炉を更新となると、電気関係はパイプラインと焼却炉と共有というか、してる部分もあるんですよ。そうしたら、この焼却炉更新にしても、広域化にしても、これから8年後か10年後になるんですか。そのときには、あわせて更新になるわけですね。その関係はね。

○市 今の受電設備に関しましては、パイプラインはそのままになります。ただ、パイプラインに電気を供給する受電設備が必要となってきます。

ただ、もし広域化が成就した場合におきましても、こちらの設備が何もなくなるわけではなくて、中継施設というサテライトセンターみたいなものはできますので、それにも電気が必要になってきます。また、それはパイプラインをメインとして、そこからフィーダーして出すのか、そっちは別でやるのかは、またそのときの検討になると思います。

○利用者の会 制御関係とか操作関係は共有してるところはないの。

○市 制御と操作は共有してないです。

○利用者の会 してないですね。

○市 もうフィーダーが別になってます。

○利用者の会 電源だけ。

○市 電源だけです。

○利用者の会 森田部長にもお聞かせいただきたいんですけども。中国で再生ごみの輸入を禁止したということで、各国ともごみがたまって非常に困るとということで、日本もそのうちの1つで。再生ごみの廃棄を、今までやったら中国に輸出してたのが輸出できなくなったことで、大量に回収業者で買って山になってる。芦屋市としては、影響は余りないんでしょうか。

○市 廃棄物の輸出ですよ、資源化物ですけども。これについては、基本的にはバーゼル条約という条約で規制をされてることがあります。芦屋市が、例えばペットボトルであるとか瓶とかその他不燃物ですね。小型家電なんかも再資源化してるんですけども、基本的には、例えばペットボトル、瓶などは容器包装リサイクル協会という団体がありまして、これのコントロールのもとに、あくまで国内で再資源化をしてございます。そういう意味では、持って行き先がないという意味での影響はないです。

ただし、おっしゃるとおり、中国が受け入れをやめたことによって、市場価格に影響が出てくることは十分に考えられます。ですから今売れている、ペットボトルなんかは売ってるんです。ただ、これの値段が安くしか売れなくなるとか、最悪の場合は、逆にお金をこちらが払って引き取ってもらわないといけない。瓶なんかは既にそうなってるんですけども。そういう金額面での影響が、市場価格の変動につれてあることは考えられます。

○利用者の会 潮見でも再生可能ごみに関して、区分けして回収業者に販売。これは市の指定という方、契約会社に出して、一応買い取ってもらって。なおかつ、また市からも補助金という形をいただいて、自治会費のうちでもかなりの金額になってるわけです。これに関して、かなり影響が出てくる可能性があるよと考えてよろしいでしょうか。

○市 いわゆる資源ごみの集団回収ですね。さっき紙ごみのことを言わなかったですが、もちろん紙も影響を受けます。ただ、どうでしょうね。紙についても中国が止めるような話、既に止めたということもあります。一方で、新聞、雑誌の発行部数自体が減ってるという話もあって、要するに出る量自体が減っているのです。市場価格のことですので、何とも申し上げようがないです。ただ、中国の動向はその市場価格に与える影響が大きいのです。今までと同じ値段では買ってもらえない可能性は十分にございます。

○**利用者の会** いろんな状況がこれから変わってくるなど。大田さんがおっしゃったのは1つの大きな要因だと思います。私たちが大阪市に、実は2回ほど話を聞きに行っただんですが、そのときに彼らが言ったのは、ごみが欲しいと言ってたんです。発電してるんですよ。毎年ごみがどんどん減ってて、発電が今後できるんだらうかともものすごく心配してたんですね。

ですから、いかにごみをいっぱい集めるかというのが、大きな彼らの課題だと言っただんです。ですから、いろんな要因が今、複雑に絡まっています。当然その辺は見ていけないといけないと思うんですけど、一口にこうだということは難しいなど。今、本当に新しい時代が来たなと私も認識してますし、その辺は他の都市にいろんな話を聞きに行って、状況を勉強することも大切かなと思っております。

○**司会（市）** それでは、次回のスケジュールですが、7月7日土曜日、同じ時間、10時から12時で、ここで考えております。よろしいでしょうか。

ワーキング・グループAが6月13日14時から16時、同じ場所、ここでやります。関係の方または参加される方は、誰でも結構ですのでよろしくお願いします。

それでは、平成30年度の1回目、第19回ゴミパイプライン協議会を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

以上